

## 参 考 资 料



# 1. 都市政策検討会議

## ・検討経過

回	開催日程	内 容
第1回	平成18年 4月28日(金)	① 本年度の取組みスケジュール ② 平成17年度人口等都市政策調査研究事業報告書 ③ フリー論議
第2回	6月1日(木)	① 平成16年度人口等都市政策調査研究事業報告 ② 各局室の課題整理・解決の方向性 ③ 平成18年度人口移動アンケート調査票の設計
第3回	7月31日(月)	① 横浜市・川崎市視察報告 ② 平成17年転出入・転居届データ分析速報 ③ インターネットアンケート調査票の設計
第4回	8月30日(水)	① 有識者講演会(千葉和子氏:株JTBパブリッシング) ② 意見交換会・フリー論議
第5回	12月26日(火)	① 各種調査結果報告 ② 各種調査結果から課題抽出 ③ 今後の施策展開等について
第6回	平成19年 1月24日(水)	① グループ討議 ② 今後の施策展開について
第7回	3月22日(木)	① 平成18年度人口等都市政策調査研究事業報告書(案)について

・平成18年度都市政策検討会議メンバー表

平成19年3月現在

局	部 課	役 職	氏 名	備考
企画財政局	総務部広報課	主任	飛山 慎司	
企画財政局	行政経営推進室調整課	課長補佐	岡西 勝義	
企画財政局	都市政策部情報政策課	係長	古木 義郎	
総務局	税務部税務管理課	主任	岡本 恵子	
総務局	税務部市民税担当	主任	上原 修	
美化環境局	環境対策部環境政策課	係長	中尾 恵里奈	
健康福祉局	総務部企画担当	係長	内海 俊仁	
健康福祉局	児童福祉部児童企画課	課長補佐	堀 信也	
市民局	市民部市民課	課長補佐	佐野 久	
市民局	生活文化部ちかまつ・文化・まち情報課	係長	寺沢 元芳	
市民局	生活文化部男女共同参画課	係長	福山 顕作	
産業経済局	産業労働部産業立地課	係長	山崎 勝司	
都市整備局	計画部都市計画課	主任	玉木 喜博	
都市整備局	住宅部住宅政策課	課長補佐	宮田 耕志	
教育委員会事務局	総務部企画財務担当	課長補佐	森山 太嗣	
企画財政局	都市政策部	企画財政局参与 都市政策部長事務取扱	福森 務	座長
企画財政局	都市政策部都市政策課	課長	佐々木 伸司	事務局長
企画財政局	都市政策部都市政策課	係長	藤 正明	事務局
企画財政局	都市政策部都市政策課	係長	伊藤 裕章	事務局

調査協力:アルパック(株)地域計画建築研究所

馬場 正哲、高田 剛司

## 2. シティセールスに係る先進事例調査

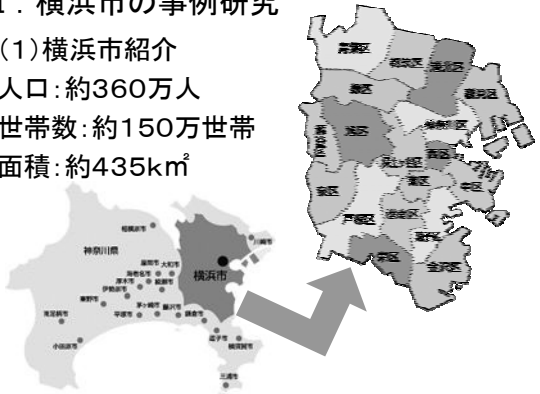


**第3回都市政策検討会議**  
[横浜市・川崎市情報収集]



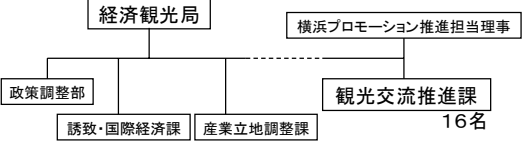
### I. 横浜市の事例研究

(1) 横浜市紹介  
人口: 約360万人  
世帯数: 約150万世帯  
面積: 約435km<sup>2</sup>



### (2) 組織体制

- 「横浜プロモーション推進事業本部 集客都市プロモーション課」  
(市長直轄、H17年度までの3年間)
- 「観光交流推進課」H18年度から  
(経済観光局←経済局)

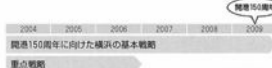


### (3) 事業・予算体系(平成18年度予算ベース)

プロモーション	横浜観光プロモーションの推進	横浜観光プロモーション強化事業(59,200千円)
	コンベンション機能の強化	横浜型テーマ月間事業(23,000千円)
環境整備 魅力・滞在	横浜の魅力づくり 快適な滞在環境の整備	全国向けダイアログプロモーション事業(12,000千円)
		コンベンション開催費支援事業(50,000千円)
		開港150周年記念事業(250,000千円)
オール横浜推進等		無償イベント支援事業(37,000千円)
		財団法人補助金及び施設整備支援費用(330,000千円)
		(財)横浜観光コンベンションビューロー補助金(431,000千円)
		観光コンベンション復興事務費(37,000千円)
		観光交流企画費(2,000千円)

### (4) 「横浜市観光交流推進計画」

平成16年6月、横浜市内で初めての観光計画を策定



(1) 基本的考え方

- 民間活力の発掘と民間主導による観光交流の推進
- 街づくりと一体となった都市の総合力の発掘による観光交流の推進
- 横浜のオリジナリティを重視した観光交流の推進
- 横浜ファン・横浜サポーター(リピーター)づくりによる観光交流の推進
- マーケティング機能の強化による観光交流の推進

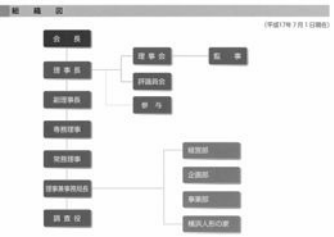
重点戦略 2 横浜ファン増加戦略

- 民間と連携した戦略的プロモーションの推進
  - ★アニメ・サーリーシティ・横浜の創造
  - ★オール横浜でのプロモーション推進体制強化
  - ★ターゲット別戦略的プロモーションの実施
- 新たな魅力の創出
  - ★市内内外部の集客力向上
  - ★緑の魅力向上と徒歩での推進

### (5) 財団法人横浜観光コンベンションビューロー

基本財産 10億円(H17年3月末現在)  
内訳 横浜市 3億5千万円  
神奈川県 1億5千万円  
横浜商工会議所 他企業 5億円

会長 中田市長  
理事長 松田JR東日本会長  
職員数 38名  
会員数 553(団体・個人)



## (6) 横浜ファンの拡大に関する市民の関わり、行政の役割

### ① 横浜観光プロモーションフォーラム

#### ◆概要 横浜観光プロモーションフォーラムの概要

横浜の観光・コンベンションに携わる170の企業・団体・市民事業者から成る組織で、横浜への来訪者を増やすことを目的に次の活動を行っています。

- ① 横浜の集客力を高める事業の企画・検討
- ② 横浜の集客力を高める事業の公募・認定・支援
- ③ 会員間の情報交換・交流活動など

設立 平成15年9月1日

役員 議長：夏 毅行（横浜商工会議所 副会頭）

副議長：李 望遠（(株)ローズホテルズ・インターナショナル代表取締役社長）

顧問：高野 昌芳（横浜商工会議所 会頭）

中田 宏（横浜市長）

会員数 170団体（平成17年7月1日現在）

事務局（財）横浜観光コンベンション・ビューロー（電話：045-211-0122）

#### ◆認定事業

「横浜への来訪者を増やす事業」を広く公募し、審査を経て認定された事業は、「横浜観光プロモーション認定事業」として、フォーラム会員が積極的に支援するほか、市やビューローもバックアップ。



#### 横浜観光プロモーションフォーラム認定事業

	審査回数	応募件数	認定事業数	助成金額 (千円)	総事業費
15年度	1	31	13	7,000	3億7千万円
16年度	2	71	33	11,350	14億8千万円
17年度	4	74 (18)	49 (9)	17,950 (4,000)	16億6千万円 (2億3千万円)
計	7	176 (18)	95 (9)	36,000 (4,000)	35億1千万円 (2億3千万円)

事業開始：15年9月

注：( )内 横浜ウエディング事業終了の認定事業



市長あいさつ文

### ② その他

#### ◆横浜フィルムコミッション

■映像製作者への対応件数実績（注：月毎の新規対応案件数を集計）

	映画	テレビ番組	CM	ビデオ	インターネット映像	その他	計
平成16年度	123件	188件	135件	139件	13件	29件	627件
平成15年度	114件	261件	183件	157件	10件	40件	765件



支援作品のロケ撮影風景

## II. 川崎市の事例研究



### (1) 川崎市紹介

人口：約134万人（増加傾向）

世帯数：約61万世帯

面積：約144km<sup>2</sup>

### (2) 組織体制

・3年前、総合企画局内にシティセールス担当（2名）配置（現市長初当選2年目）

※庁内プロジェクトチーム「いいじゃん川崎」

・平成18年 広報課、シティーセールス担当、記者クラブを統合して「シティーセールス広報室」として発足 約25名

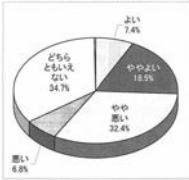
#### (4)シティセールス推進に至る経緯

##### ①川崎市の特徴

- ・東京と横浜の間に挟まれた都市
- ・京浜工業地帯の中心地として、日本の高度成長期に発展。しかしながら工業発展の影の部分としての「公害」が蔓延し社会的な問題を抱えた。

##### ②イメージ調査

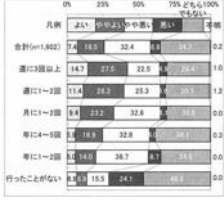
川崎市の都市イメージ (平成16年)



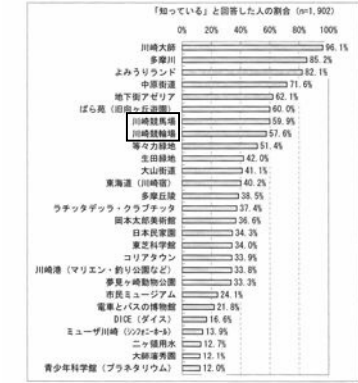
年代別川崎市のイメージ (平成16年)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
合計 (n=1,002)	産業のまち 43.1%	公害のまち 40.2%	労働者のあつまり 25.9%	緑あふみのまち 22.2%	文化のまち 21.8%
10歳代	産業のまち 40.7%	産業のまち 28.4%	文化のまち 24.7%	公害のまち 23.5%	公害のまち 18.9%
20歳代	産業のまち 51.0%	公害のまち 40.5%	公害のまち 28.5%	文化のまち 21.2%	文化のまち 15.2%
30歳代	産業のまち 47.8%	産業のまち 41.1%	公害のまち 29.1%	労働者のあつまり 20.8%	公害のまち 13.8%
40歳代	産業のまち 44.0%	労働者のあつまり 40.2%	公害のまち 40.2%	公害のまち 30.8%	公害のまち 13.8%
50歳代	産業のまち 47.4%	公害のまち 41.7%	公害のまち 48.1%	公害のまち 28.4%	文化のまち 8.9%
60歳代	産業のまち 49.1%	公害のまち 43.7%	公害のまち 41.3%	公害のまち 27.7%	歴史と伝統のまち 3.9%
70歳以上	産業のまち 73.2%	公害のまち 39.6%	労働者のあつまり 22.2%	公害のまち 15.2%	先づき緑のまち 12.7%

施設種類別の川崎市のイメージ (平成16年)



市内主要施設等の認知度 (平成16年)



#### (5)「川崎市シティセールス戦略プラン」

##### ①川崎市総合計画との関係

##### ②取組の柱

- (1)「産業・研究開発」の先端都市
- (2)「芸術・文化」の発信都市
- (3)「スポーツ」が盛んな都市
- (4)「自然」豊かな都市



##### ③その他

- ◆川崎市イメージアップ事業認定
- ◆JR川崎駅周辺整備
- ・ミュージア川崎シンフォニーホール
- ・ラゾーナ川崎(東芝工場跡地)



#### (6)メディア戦略

##### ①「るるぶ川崎市」



発行元

㈱JTBパブリッシング

現在11自治体の「るるぶ」が存在。従来は旅行者向けのガイドブックとしての役割が強かったが、現在は地元の方々が自分の住んでいるエリアをよく知りたいたいことから売れている。

##### ②「かわさき生活ガイド」



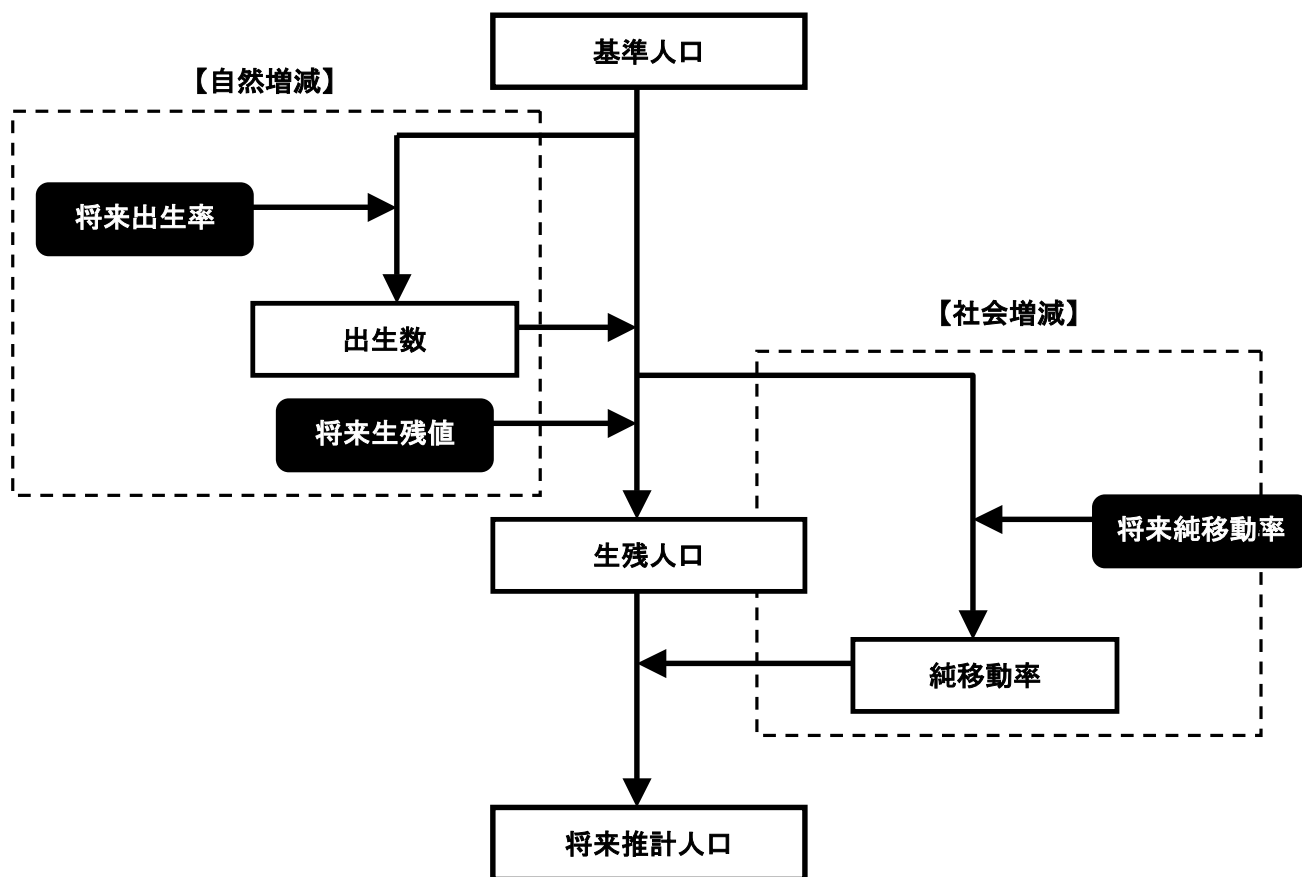
### 3. 将来推計人口の試算方法

本市の将来推計人口を各年齢毎に算出した。少子高齢化が市政運営に大きな影響を及ぼすものと考えられることから、今後の施策検討に資するため、年齢別、年齢 3 区分別の推計人口値を求めた。

#### (1) 推計方法

将来人口の推計にあたっては、年齢別の人口動態を反映させることのできる最も基本的な人口推計手法である「コーホート要因法」を用いた。推計仮定をフロー図にすると、図 1-1 のようになる。

図1-1 コーホート要因法による将来人口の推計フロー



## (2) 推計における条件設定

コーホート要因法による将来人口推計を行うにあたっては、表 1-1 に示す項目について、将来の仮定値を設定した。

表 1-1 仮定値算定に用いた数値

項目	内容
①出生率	ある年齢の女子が1年間に子どもを産む比率[年齢5歳階級別(15~49歳)]
②出生児性比	出生児の男女比率
③生残値	ある年齢の人口が5年後に生存している比率(男女別・年齢5歳階級別:ただし今回は年齢別のコーホートを算出したため、5歳階級別の生残値を対象の各年齢別にあてはめている。)
④純移動率	ある年齢の人口に対する5年間の転出入数の比率(男女別・年齢5歳階級別:ただし今回は年齢別のコーホートを算出したため、5歳階級別の移動率を対象の各年齢別にあてはめている。)

### ① 出生率

2000年(平成12年)から2005年(平成17年)の尼崎市の年齢5歳階級別の出生率を算出し、その5年間の平均値を求め、その値と2000年から2005年における兵庫県の5歳階級別の出生率の平均値との相対的格差を算出し、それを2030年までの兵庫県の年齢別将来出生率の仮定値に乗じることによって、尼崎市の年齢別将来出生率の仮定値とした。(図1-2、表1-2、3、4)

図 1-2 出生率の将来仮定値の設定方法

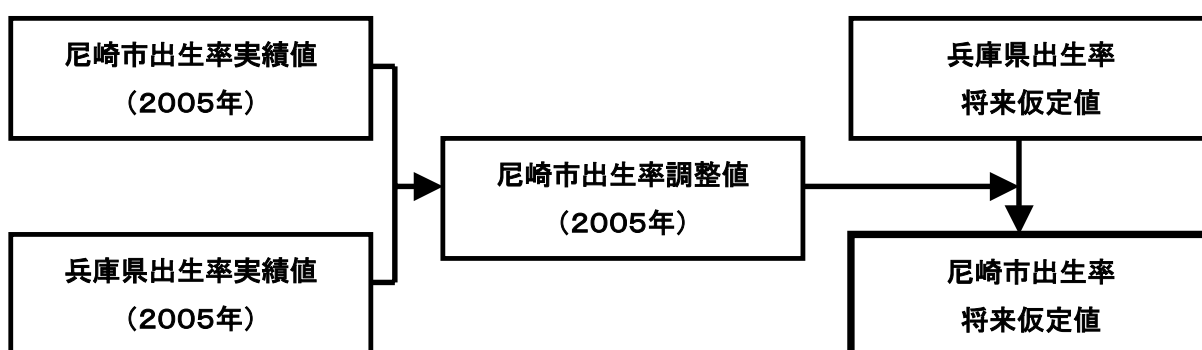


表 1-2 合計特殊出生率の尼崎市と兵庫県及び全国平均値の推移

	尼崎市	兵庫県	全国
平成7年	1.36	1.41	1.42
平成8年	1.36	1.39	1.42
平成9年	1.36	1.37	1.39
平成10年	1.39	1.38	1.38
平成11年	1.34	1.35	1.34
平成12年	1.37	1.38	1.36
平成13年	1.28	1.29	1.33
平成14年	1.30	1.29	1.32
平成15年	1.27	1.25	1.29
平成16年	1.27	1.24	1.29
平成17年	1.21	1.20	1.26

表 1-3 尼崎市と兵庫県の年齢別出生率の格差(2000~2005年の平均格差)

年度	尼崎市(2000年~2005年推計)	兵庫県(2000年~2005年推計)	格差(市/県)2000年~2005年推計
年齢階層(歳)	平均出生率	平均出生率	平均格差(推計)
15~19	0.010	0.006	1.808
20~24	0.038	0.037	1.021
25~29	0.085	0.097	0.877
30~34	0.086	0.091	0.944
35~39	0.035	0.033	1.066
40~44	0.005	0.005	0.890
45~50	0.000	0.000	1.239
	1.293	1.344	

表 1-4 兵庫県の年齢別将来出生率と尼崎市の年齢別将来出生率(仮定値)

年齢階層(歳)	平成12~17年 (2000~2005)		平成17~22年 (2005~2010)		平成22~27年 (2010~2015)		平成27~32年 (2015~2020)		平成32~37年 (2020~2025)		平成37~42年 (2025~2030)	
	兵庫県推計	尼崎市推計	兵庫県推計	尼崎市推計	兵庫県推計	尼崎市推計	兵庫県推計	尼崎市推計	兵庫県推計	尼崎市推計	兵庫県推計	尼崎市推計
15~19	0.0056	0.0101	0.0055	0.0100	0.0054	0.0098	0.0055	0.0099	0.0055	0.0099	0.0055	0.0099
20~24	0.0372	0.0380	0.0362	0.0370	0.0357	0.0365	0.0354	0.0361	0.0353	0.0360	0.0353	0.0360
25~29	0.0975	0.0854	0.0891	0.0781	0.0854	0.0748	0.0843	0.0739	0.0838	0.0734	0.0837	0.0734
30~34	0.0908	0.0857	0.0864	0.0816	0.0861	0.0813	0.0867	0.0819	0.0871	0.0822	0.0873	0.0825
35~39	0.0325	0.0347	0.0374	0.0398	0.0413	0.0440	0.0435	0.0464	0.0446	0.0475	0.0450	0.0480
40~44	0.0052	0.0046	0.0085	0.0075	0.0121	0.0108	0.0149	0.0132	0.0162	0.0144	0.0165	0.0147
45~49	0.0001	0.0001	0.0004	0.0004	0.0008	0.0010	0.0014	0.0017	0.0018	0.0023	0.0020	0.0025
合計特殊出生率	1.34	1.29	1.32	1.27	1.33	1.29	1.36	1.32	1.37	1.33	1.38	1.33

## ② 出生児性比

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）にならい、女子100に対して男子105.5とした。

## ③ 生残値

兵庫県内で市町村ごとに大きな差異が生じることは考えにくいので、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口（平成14年3月推計）」における兵庫県の生残値の仮定値を尼崎市における生残値の仮定値として設定した。（表1-5、6）

表1-5 兵庫県の生残値(男)

男性	平成12～17年	平成17～22年	平成22～27年	平成27～32年	平成32～37年	平成37～42年
期首年齢→期末年齢(歳)	(2000～2005)	(2005～2010)	(2010～2015)	(2015～2020)	(2020～2025)	(2025～2030)
出生→0～4	0.99661	0.99696	0.99723	0.99744	0.99760	0.99773
0～4 → 5～9	0.99871	0.99884	0.99895	0.99903	0.99911	0.99917
5～9 → 10～14	0.99931	0.99936	0.99942	0.99946	0.99950	0.99953
10～14 → 15～19	0.99863	0.99872	0.99880	0.99886	0.99892	0.99897
15～19 → 20～24	0.99711	0.99727	0.99741	0.99753	0.99763	0.99772
20～24 → 25～29	0.99663	0.99678	0.99693	0.99706	0.99717	0.99726
25～29 → 30～34	0.99643	0.99657	0.99671	0.99683	0.99693	0.99701
30～34 → 35～39	0.99528	0.99551	0.99570	0.99585	0.99598	0.99610
35～39 → 40～44	0.99302	0.99338	0.99368	0.99393	0.99414	0.99432
40～44 → 45～49	0.98823	0.98876	0.98926	0.98969	0.99006	0.99039
45～49 → 50～54	0.98095	0.98167	0.98236	0.98295	0.98346	0.98390
50～54 → 55～59	0.97016	0.97132	0.97235	0.97323	0.97399	0.97465
55～59 → 60～64	0.95398	0.95604	0.95784	0.95939	0.96074	0.96192
60～64 → 65～69	0.92720	0.93035	0.93334	0.93590	0.93813	0.94009
65～69 → 70～74	0.88700	0.89227	0.89708	0.90119	0.90476	0.90788
70～74 → 75～79	0.82792	0.83580	0.84309	0.84927	0.85457	0.85919
75～79 → 80～84	0.72538	0.73611	0.74665	0.75565	0.76341	0.77019
80～84 → 85～89	0.57641	0.58842	0.60157	0.61296	0.62295	0.63179
85～89 → 90～94	0.34622	0.35286	0.36191	0.36976	0.37665	0.38273
90～94 → 95～99	0.20000	0.20000	0.20000	0.20000	0.20000	0.20000
95～99 → 100～104	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000
100～104 → 105～109	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000

表 1-6 兵庫県が生残値(女)

女性	平成12～17年	平成17～22年	平成22～27年	平成27～32年	平成32～37年	平成37～42年
期首年齢→期末年齢(歳)	(2000～2005)	(2005～2010)	(2010～2015)	(2015～2020)	(2020～2025)	(2025～2030)
出生→0～4	0.99673	0.99705	0.99733	0.99755	0.99773	0.99788
0～4 → 5～9	0.99905	0.99913	0.99921	0.99928	0.99933	0.99938
5～9 → 10～14	0.99946	0.99950	0.99954	0.99958	0.99961	0.99964
10～14 → 15～19	0.99931	0.99933	0.99938	0.99942	0.99945	0.99948
15～19 → 20～24	0.99884	0.99890	0.99896	0.99902	0.99907	0.99910
20～24 → 25～29	0.99844	0.99855	0.99864	0.99872	0.99879	0.99885
25～29 → 30～34	0.99814	0.99827	0.99838	0.99847	0.99854	0.99861
30～34 → 35～39	0.99758	0.99775	0.99788	0.99799	0.99808	0.99815
35～39 → 40～44	0.99636	0.99662	0.99681	0.99697	0.99710	0.99722
40～44 → 45～49	0.99436	0.99469	0.99498	0.99521	0.99541	0.99558
45～49 → 50～54	0.99116	0.99166	0.99209	0.99245	0.99275	0.99300
50～54 → 55～59	0.98654	0.98738	0.98810	0.98870	0.98922	0.98966
55～59 → 60～64	0.98017	0.98140	0.98262	0.98365	0.98454	0.98531
60～64 → 65～69	0.96906	0.97129	0.97333	0.97505	0.97653	0.97781
65～69 → 70～74	0.95029	0.95406	0.95756	0.96049	0.96299	0.96515
70～74 → 75～79	0.91452	0.92103	0.92716	0.93230	0.93667	0.94044
75～79 → 80～84	0.84438	0.85521	0.86572	0.87458	0.88214	0.88869
80～84 → 85～89	0.72671	0.74190	0.75772	0.77124	0.78291	0.79311
85～89 → 90～94	0.47116	0.48192	0.49462	0.50539	0.51457	0.52245
90～94 → 95～99	0.20000	0.20000	0.20000	0.20000	0.20000	0.20000
95～99 → 100～104	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000
100～104 → 105～109	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000	0.10000

#### ④ 純移動率

2000年から2005年にかけての年齢別の生残値（兵庫県生残値仮定値）を尼崎市の2000年国勢調査人口数に乘じ、その値から尼崎市の2005年国勢調査人口数を引き、その差を2005年国勢調査人口数で除した割合を尼崎市の純移動率の仮定値として設定した。（表1-7）

表1-7 尼崎市純移動率

期首年齢→期末年齢(歳)	男性	女性	期首年齢→期末年齢(歳)	男性	女性
0 → 5	-0.08008	-0.09247	51 → 56	0.01945	0.00029
1 → 6	-0.05594	-0.06072	52 → 57	-0.01452	-0.01046
2 → 7	-0.07575	-0.06907	53 → 58	0.00036	-0.01076
3 → 8	-0.05813	-0.05589	54 → 59	0.00526	-0.00375
4 → 9	-0.03846	-0.04683	55 → 60	0.01542	0.00417
5 → 10	-0.05487	-0.05768	56 → 61	-0.00864	-0.00401
6 → 11	-0.03485	-0.01790	57 → 62	0.00161	0.00135
7 → 12	-0.02413	-0.03360	58 → 63	-0.00473	-0.00647
8 → 13	-0.03569	-0.01096	59 → 64	0.00206	-0.00017
9 → 14	-0.01849	-0.00951	60 → 65	0.02122	0.00708
10 → 15	-0.01944	-0.03533	61 → 66	0.01226	0.00044
11 → 16	-0.00344	0.00985	62 → 67	0.00160	-0.02112
12 → 17	-0.01383	-0.01359	63 → 68	-0.00985	-0.01084
13 → 18	0.05627	0.04629	64 → 69	0.01040	-0.01325
14 → 19	0.09577	0.07799	65 → 70	0.02692	0.00137
15 → 20	0.07439	0.10205	66 → 71	0.01713	0.01227
16 → 21	0.02884	0.08408	67 → 72	-0.01762	-0.00621
17 → 22	0.05548	0.08948	68 → 73	0.00001	-0.01129
18 → 23	-0.05053	0.06536	69 → 74	-0.01667	-0.00983
19 → 24	-0.05187	-0.02675	70 → 75	0.06001	0.00076
20 → 25	-0.01620	0.00908	71 → 76	0.03676	-0.00301
21 → 26	0.04170	0.00802	72 → 77	0.00571	-0.03701
22 → 27	0.02878	0.02351	73 → 78	0.00206	-0.04345
23 → 28	-0.00193	0.00767	74 → 79	-0.02309	-0.00429
24 → 29	-0.02247	0.00709	75 → 80	0.05435	0.03180
25 → 30	-0.01779	-0.00223	76 → 81	0.05494	-0.01406
26 → 31	-0.03353	-0.01530	77 → 82	-0.02024	-0.00221
27 → 32	-0.02115	-0.05564	78 → 83	-0.00881	-0.02410
28 → 33	-0.04573	-0.04185	79 → 84	-0.08732	-0.09578
29 → 34	-0.04439	-0.02746	80 → 85	0.11333	0.05259
30 → 35	-0.06963	-0.05386	81 → 86	0.10492	0.05068
31 → 36	-0.05909	-0.06580	82 → 87	-0.03419	-0.05472
32 → 37	-0.05116	-0.03441	83 → 88	-0.01895	-0.01640
33 → 38	-0.08043	-0.05197	84 → 89	-0.15013	-0.11765
34 → 39	-0.05415	-0.02803	85 → 90	0.28397	0.33684
35 → 40	-0.04874	-0.03340	86 → 91	0.21840	0.21514
36 → 41	-0.04638	-0.02017	87 → 92	0.08694	0.21886
37 → 42	-0.03241	-0.02256	88 → 93	0.30742	0.17329
38 → 43	-0.01905	-0.01540	89 → 94	0.05073	0.06562
39 → 44	-0.04054	-0.03152	90 → 95	-0.14264	0.05632
40 → 45	-0.01975	-0.03083	91 → 96	-0.27166	-0.09512
41 → 46	-0.00686	-0.01484	92 → 97	-0.18619	-0.34882
42 → 47	0.00228	0.00903	93 → 98	-0.38964	-0.42417
43 → 48	-0.02683	-0.00718	94 → 99	-0.05722	-0.29474
44 → 49	-0.00619	0.01780	95 → 100	0.20343	0.39721
45 → 50	-0.02920	-0.00560	96 → 101	0.20343	0.39721
46 → 51	-0.00566	0.00306	97 → 102	0.20343	0.39721
47 → 52	0.01125	0.00404	98 → 103	0.20343	0.39721
48 → 53	-0.02012	-0.01555	99 → 104	0.20343	0.39721
49 → 54	-0.00044	0.00602	100 → 105	0.20343	0.39721
50 → 55	-0.00346	-0.00153	101 → 106	0.20343	0.39721
			102 → 107	0.20343	0.39721
			103 → 108	0.20343	0.39721
			104 → 109	0.20343	0.39721

※なお、純移動率は2030年まで一定と仮定した。

### ※使用データ

- (1) 平成 12 年国勢調査人口性、年齢別データ(10 月 1 日)
- (2) 平成 17 年国勢調査人口性、年齢別データ(10 月 1 日)
- (3) 平成 12 年～17 年、尼崎市女性年齢別(5 歳毎区分)出生者数
- (4) 出生性比(国立社会保障・人口問題研究所)
- (5) 2000～2004 年、2005～2009 年、2010～2014 年、2015～2019 年、2020～2024 年、2025～2029 年、の年齢区分別、兵庫県将来推計生残値
- (6) 2000～2005 年、2005～2010 年、2010～2015 年、2015～2020 年、2020～2025 年、2025～2030 年、の兵庫県将来推計出生率
- (7) 平成 12 年国勢調査人口、平成 17 年国勢調査人口、兵庫県生残値から算出した尼崎市移動率

### ※算出手法

<コホート要因法>

- $\text{平成 12 年国勢調査人口} \times \text{兵庫県生残値(2000～2005)} / \text{平成 17 年度国勢調査人口} = \text{尼崎市移動率}(\%)$
- 2000 年から 2005 年の移動率が 2030 年までの間、一定と仮定。
- 尼崎市将来推計生残値＝兵庫県将来推計生残値と仮定。
- 平成 12 年～17 年の尼崎市出生率の推移と平成 12 年～17 年の兵庫県出生率推計との差を求め、それを兵庫県将来出生率推計に反映させて、尼崎市将来推計出生率を算出。
- 2005 年から 5 年毎の出生者数(出生性比 男:女=105.5:100)を尼崎市将来推計出生率により算出、さらに兵庫県将来推計生残値、尼崎市移動率を各年齢毎の人口数に乘じ 5 年毎の推計人口値を算出。
  - ※ 移動率の 95 歳以上は、95 歳時の移動率と同じとした
  - ※ 生残値は兵庫県推計値が 89 歳までしかないため、90 歳～94 歳を 0.2、95 歳～104 歳を 0.1 と仮定し、105 歳以上の生残値を 0 に仮定した。

**平成 18 年度人口等都市政策調査研究事業 報告書**

平成 19 年 3 月

編集 尼崎市企画財政局都市政策部都市政策課

住所 尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号

電話 06-6489-6147

Email [ama-tosiseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-tosiseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp)